

01. こんな深夜に訪問者とは…

03.清めて差し上げます

では私の身をもつて、穢れた勇者様の身体を、清めて差し上げます…
では勇者様、これから勇者様の中の呪いを祓います、チンポを出してください
ほら、恥ずかしながらいで、早くチンポを出してください
早くしないと、呪いを祓いきれなくなつてしまっていますので…勇者様の命にも関わりますよ?
ほらほら、早く下の服を脱いでください
♥

勇者様にはこれらから簡単には射精して頂きます。勇者様の先端から、射精して頂きます。
私ががしつかり、祓つて呪いを吐き出すこと：それが射精です。私が重要なのです。
身体の外に吐き出すこと：それが重要なのです。
差し上げますから、ご安心くださいませ。
この方法では、勇者様の身体に負担がかかります。
何度も射精する必要がありますから、
何度でも射精する必要がありますから、
私はよろしいですか？
責任を持つて、勇者様の精液を空っぽになるまで吐き出させて差し上げます。
では私が責任を持つて、勇者様の精液を空っぽになるまで吐き出させて差し上げます。
そのため勇者様が一番興奮する方法を教えてください。
勇者様に快感を感じて頂かないと、射精は出来ませんから、まだよく分からぬのですね。
あら、それなら。

勇者様の心に、直接聞いてみましょう。♥
私の胸の音、聞こえますか？？
トクン、トクンという音：聞いていると、なんだか心が落ち着いてきませんか？？
自分を隠す必要はありません：正直に、私の声に応えてください。
勇者様は、どういう行為で興奮しますか？？
女性の身体の、どの部分がお好きですか？？
脚？？勇者様は、脚がお好きなのですね？？
では勇者様の望み通り：脚を使つて、勇者様の呪いを祓いましょう。♥
そちらの祭壇の上に、仰向けに寝転がつてください。

04.潤滑油を使って：

今日は以前、私の秘蔵の：このエルフ特製の潤滑油を使いましょう♥
それは以前、私の秘蔵の：このエルフ特製の潤滑油を使いましょう♥
それをきっかけに、会でシスターとしての修行をしていた、エルフ族の女性がいたんですよ
な薬がよく入つて来るんです。エルフの里に交流が生まれ、里のエルフたちが作った珍しい道具や貴
特製の潤滑油は、エルフが魔力を入つて作つた物で、エルフの人間の性内興奮度を高める効果が

エルフ向けの物を人間用少しに薄めた物ですが…それでも効果は十分過ぎるほど…
この潤滑油を：勇者様のチンポに：♥んんんつ♥

如何ですか？エルフの魔力で、人肌よりも少し暖かい温度を保つようになつてゐるんです
これだけ垂らせば：んっ、十分でしよう。私の脚で、勃起したチンポを刺激し、射精を促して差し上げますね。

ほら：勇者様のチンポは今、私に踏みつけられていまよ
まさか勇者様が：んんつ♥ここまで変態だとは思いませんでした…
さて、即ちチノドを皆女れて三興奮してはつてはるのぢやう

ふふつ♥私の脚を跳ね返すように：んんつ♥チンポが力強く脈打つてます
こんなに興奮したチンポ：初めて見ました♥

今度は：勇者様の勃起したチンポを…んつ、両足で挟んで…
あまり暴れないでください♥チンポを挟めないじゃですか♥
巷では：手でチンポを扱く事を手コキ、脚で扱く事を脚コキと言うんだとか…
ふふつ、風の噂に聞いたもので♥

ふふつ♥街の民には見せられませんね♥
今はい♥今夜の事は、私の胸の内にだけ秘めで起きます♥シスターは秘密を必ず守りますから♥
空いてる脚で：乳首も、んつ♥
あら、勇者様は乳首もお好きなのですね♥
ではでは：♥乳首とチンポを同時に刺激して差し上げます♥

今度は：両脚で両方の乳首をコリコリしてきましたよ♥勇者様の乳首ああ：乳首ばかりにかまけて、チンポがおろそかになつていまいましたね♥

潤滑油を少し足し、まだ我慢してくんださいよ。しかし、もう少しで、暴れでますよ。

：我まだよ
：慢はう少
：脚ぶい、し
：がりてし
：といもう少
：か勇チたう
：者ンス射精
：様ポベ精液
：のかでし
：を精らをて
：全液吐吐大
：できき丈
：吐真出出夫
：吐きまくし
：出白までよ
：せにし
：ま穢ただ
：しさね
：たれ
：かでし
：すまくす
：いまし
：た

では：目を、閉じてください
いで：目を開けてはいけませんよ？
いしょ：

ままだに射精して頂かないと困りますし…
下着越しでは私の匂いを直接、勇者様に…
ふふふ♥この方があつ♥私の匂いやんんん♥
あらあら、チンポも良い反応です♥やはり、こうした方がよさそうですね…?
潤滑油も足しておきましょう♥
では再び脚で：♥
あらあら♥勇者様のチンポ…♥あつという間に、先ほどの大きさにまで勃起しましたね…
直接私を感じて：んんあつ♥興奮しているのですね…

：あらあら♥今チンポが跳ねあがりましたよ♥
：勇者様がここまで性欲旺盛な変態だつたとは、予想外でした…
：もう少し、射精は我慢してください♥
：勇者様の呪いを、祓う為ですかから♥
：もう一度潤滑油を足しよろしく♥
：今思い出したのですが…♥
：ふふふ♥油、エルフたちの間では「ローション」と呼んでいますよ～♥
：ふふふ♥工耳の使い言葉は、不思議な響きがありますよね♥

：おや？まだ呪いを吐き出し切れでいいんですね：
：はい、これでもう大丈夫ですよ♥
勇者様に憑いていた呪いは、綺麗さっぱり無くなりました
よく頑張りましたね♥

06.もしよろしければ…

さて、と一通りの儀式は終わりましたが…
さで、と勇快古：私勇勇術こま私勇勇者もしてよろしければ…
されはらつりの中者樂来あの者者者のつは者者様を呪いに負けなきをかけて差し上げます
でいあぶ口快たに様をよら女様様と加た心様様と：神の加護は如何でしょ
よりよ、らり！樂め送の感り、のはの被護り配がを呪いに負けなきをかけて差し上げます
、かシをにりチド、勇部：魔術はしなま被護り配がを呪いに負けなきをかけて差し上げます
、くまけヨ感、込ンれセ力者、なのたいセ我だたンじまむポばッツを、私の魔力と勇者様の魔力を編み交した、私が護りのまじないをかけて差し上げます
ツ慢挿とをてず：か感クはス博士は魔術と合わせて編み出しました、勇者様の中に注ぎ込む：そう考えてください
♥ ら頂はチンポを挿入し：勇者様から、魔力を吸い上げ：私の魔力と絡ませ：キスを通じて、魔力を勇者様
クで入こ：勇くたん者様めに：特製の口こシヨンも使いましょ
スまでいなチンチ：ポンポルフ全體に：垂らしかけ：塗り：射精されようには困ります
の時快感♥のポンポルフ全體に：垂らしかけ：塗り：射精されようには困ります
が増すことでしょう♥

勇者様の魔力なんなら私の術式と合わせて、強力な加護が作れそうです……

お返ししていきます♥

さんはもう一度、勇者様の魔力を頂きます……

では本当に濃い魔力♥あんつ♥こんなのは、私も初めて……

：はい、また魔力をお返ししていきます……

ではもう一度、勇者様から魔力を頂きます……

快樂を感じても：んんつ♥射精をしては：いけませんよ……

快楽を感知で：かく構築した、加護の術式があ：壊れてしましますから……

：口を開けてください：♥

そもそもそろそろ：体に変化を感じるはず……

私例えば少しづつ、私と一つになつてゐるような、そんな感じがしていませんか？

のたかつの魔力と、勇者様の魔力を一つになつてゐるのですが普

ら送つた魔力が：勇者様に馴染んでいるのです……

もうそろそろ：体に変化を感じるはず…
私例えれば：少しずつ、私と一つになつてゐるような、そんな感じがしていませんか…？
私の魔力と、勇者様の魔力を一つに合わせているのです：そのように感じるのが普通なのです…
まかつになればなるほど：私たちの魔力が絡み合つて、溶けあつてゐる証拠…
私は送つた魔力が：勇者様に馴染んでいるのです…
また：動きますよ：
私の術による加護が完成するまで…何度でも…何度でも…
ローキングが薄くなつてきましたね：一度、ローキングを足しましようか…
もう一度：勇者様のチンポに：
ふふはてこれで：気持良くなれますよ、勇者様…
ふふはてこれで：

もうすぐ術は完成します…
それまでもう少しだけ射精を堪えてください…

これで勇者様が術は完成する教会の中に射精すれば加護の儀式は終わりです。勇者でしよう。

は勇者様の射精を確認したが…
チンポを抜きますよ♥術は完成しましたから…
中に吐き出された精子が零れできました♥
魔力の詰まつた精液…このまま捨ててしまふのは

魔力の詰まつた精液：♥このまま捨ててしまふのは勿体ないですね…♥
手で掬つてみましたが：ごくつ：♥むせかえるような匂いですね…♥
中に出されたものを、頂いてしまいました：♥
それにしても、本当にすごいですね：勇者様の精液：♥
術を使した後とは思えないくらい…むしろ、術を行う前よりも魔力に満ち溢れるような…♥
流石は、選ばれし勇者様ですね♥

では勇者様、先の呪いのお祓い、合わせて加護の術…合わせて6000万、我が教会への寄付をお願い致します♥

：ふふふ♥ 残念ですが、今の勇者様に拒否権はありません♥
それとも：今すぐここに、6000万を用意できるとでも？
：では決定です♥ 騎士団全員とのセックスが終わるまで、勇者様には教会に留まつて頂きますね♥